

<ポイント版> ぎふ経済レポート（令和2年3月分）

【製造業】新型コロナウイルスの影響が懸念される

- 製造業は、鉱工業生産指数で金属製品が前月比上昇したものの、電気機械等、低下する産業が目立った。ヒアリングにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大により、売上等に対して悪影響が出ているとの声が聞かれた。

【地場産業】厳しい状況に加え、新型コロナウイルスの影響も懸念される

- 地場産業は、鉱工業生産指数で窯業・土石と家具が上昇したものの、その他の産業で前月比で低下した。ヒアリングにおいては、消費税増税の影響による売上の減少に加え、新型コロナウイルスの感染拡大が重なり、今後の影響を懸念する声が聞かれた。

【設備投資】落ち込みが長期化している

- 設備投資は、工作機械受注額について、国内向けは15ヶ月連続、海外向けは16ヶ月連続で前年同月を下回っている。ヒアリングにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大による先行きの不透明感から設備投資計画を見直す企業が出ている。

【個人消費】新型コロナウイルスの影響が大きい

- 個人消費は、小売店の2月の販売額については、ドラッグストアやホームセンター等で前年同月比増加した。ヒアリングにおいては、買いだめ客の増加により客単価が伸びているものの今後の反動を懸念する声や、品切れ中のマスク等への問い合わせが多く売上につながらないという声が聞かれた。

【観光】新型コロナウイルスの影響が大きい

- 観光は、前年と比較し、新型コロナウイルスの影響により観光地、宿泊施設ともに前年同月を下回った。宿泊施設においてはインバウンドの激減により厳しい状況。ヒアリングにおいては、先が見えない現状から資金繰りも見通せないとの声が聞かれた。

【資金繰り】新型コロナウイルスの影響が出始めている

- 企業の資金繰りは、金融機関からは、各種産業から融資の相談が増加傾向にあるとの声が聞かれた。

【雇用】人手不足状態が続くが、新型コロナウイルスの影響が懸念される

- 雇用面は、有効求人倍率等の関連指標は全国でも高水準に位置しており、依然として人手不足は慢性化した状態。一方、ヒアリングにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大が企業の採用活動に支障をきたしているとの声が聞かれた。

【景気動向】

- 景気動向指数（一致指数）は2か月連続で上昇したものの、中小企業における景況感は一時的に▲62で3ヶ月連続で低下した。